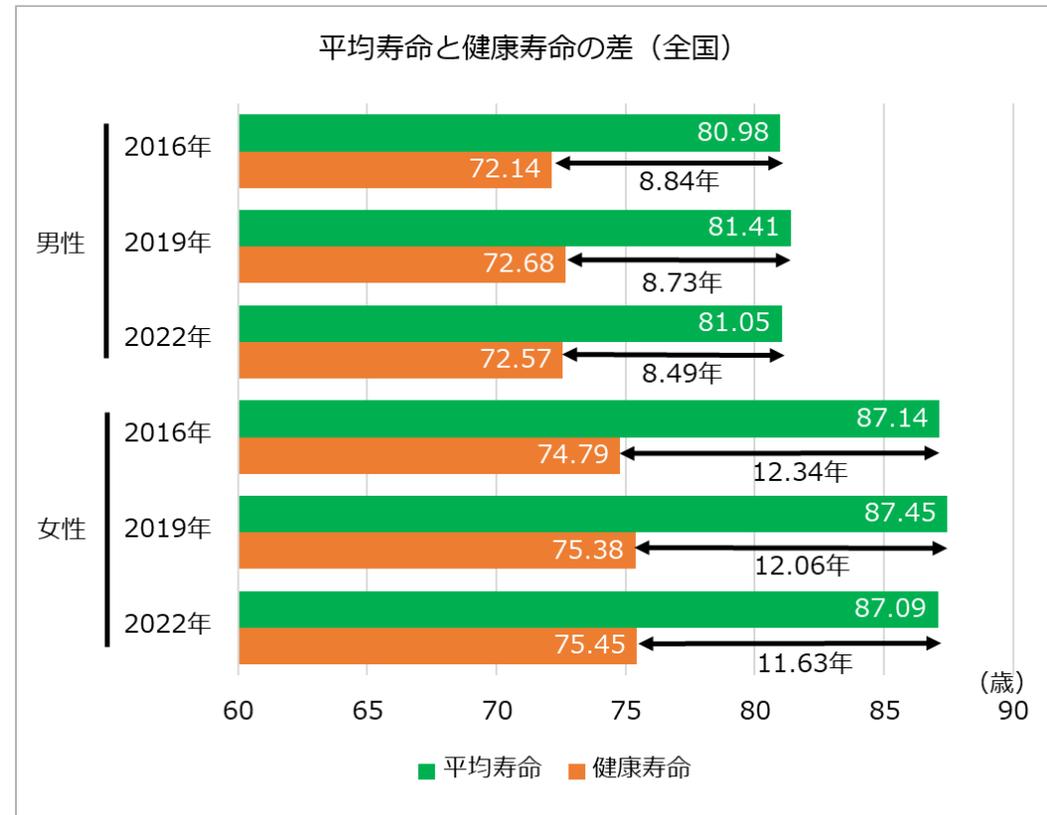
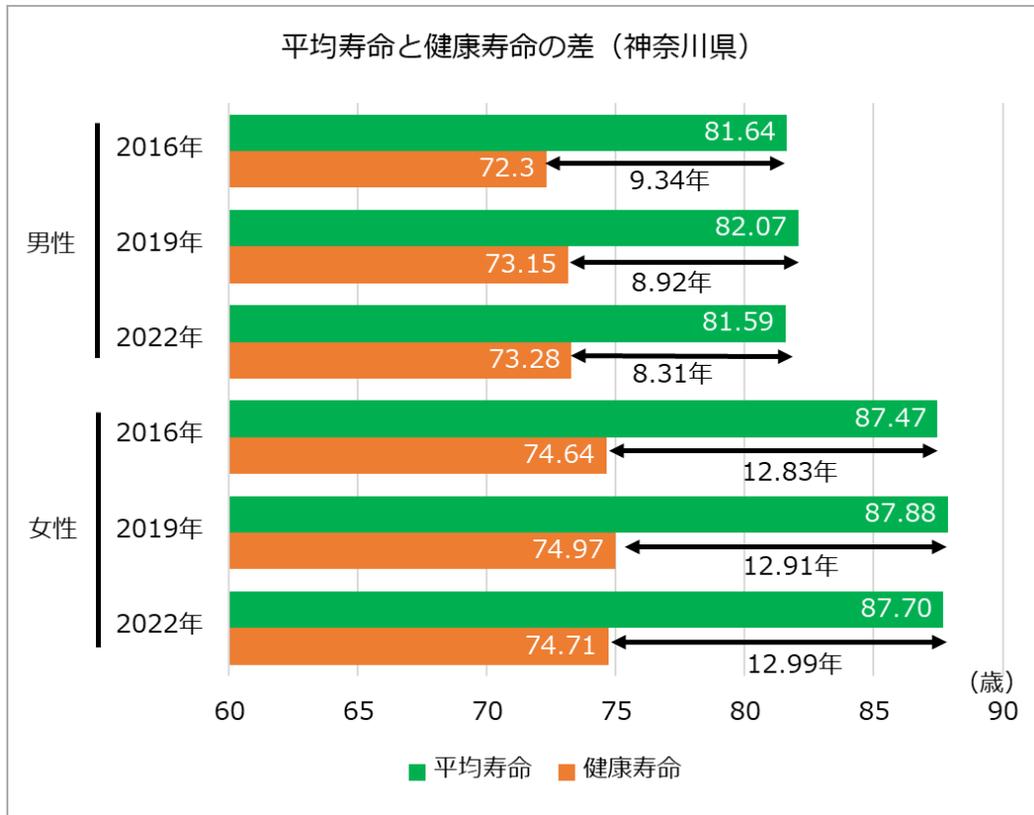


「フレイルにおける地域 課題と対応について」

かながわ福祉サービス振興会
共生社会推進本部
上級・中核フレイルトレーナー
理学療法士 成田 慎一

目次

- 1) 神奈川県におけるフレイル課題
- 2) 当会と神奈川県がすすめているフレイル予防事業
- 3) 今後の展望



1. 神奈川県におけるフレイル課題

平均寿命と健康寿命の差を縮めるため（なぜならばこの9～12年という間は介護や医療が必要となり、自立した生活が送れていない期間であるから）

県内のフレイル予防の現状

- 当会のHPより

 **かながわフレイルナビ**

ホーム

フレイルって
なんだろう？

フレイルチェック
をする

各市町村の
活動状況を見る

自分にあった
活動を探す

かながわ
フレイルナビとは

お問い合わせ

かながわフレイルナビ

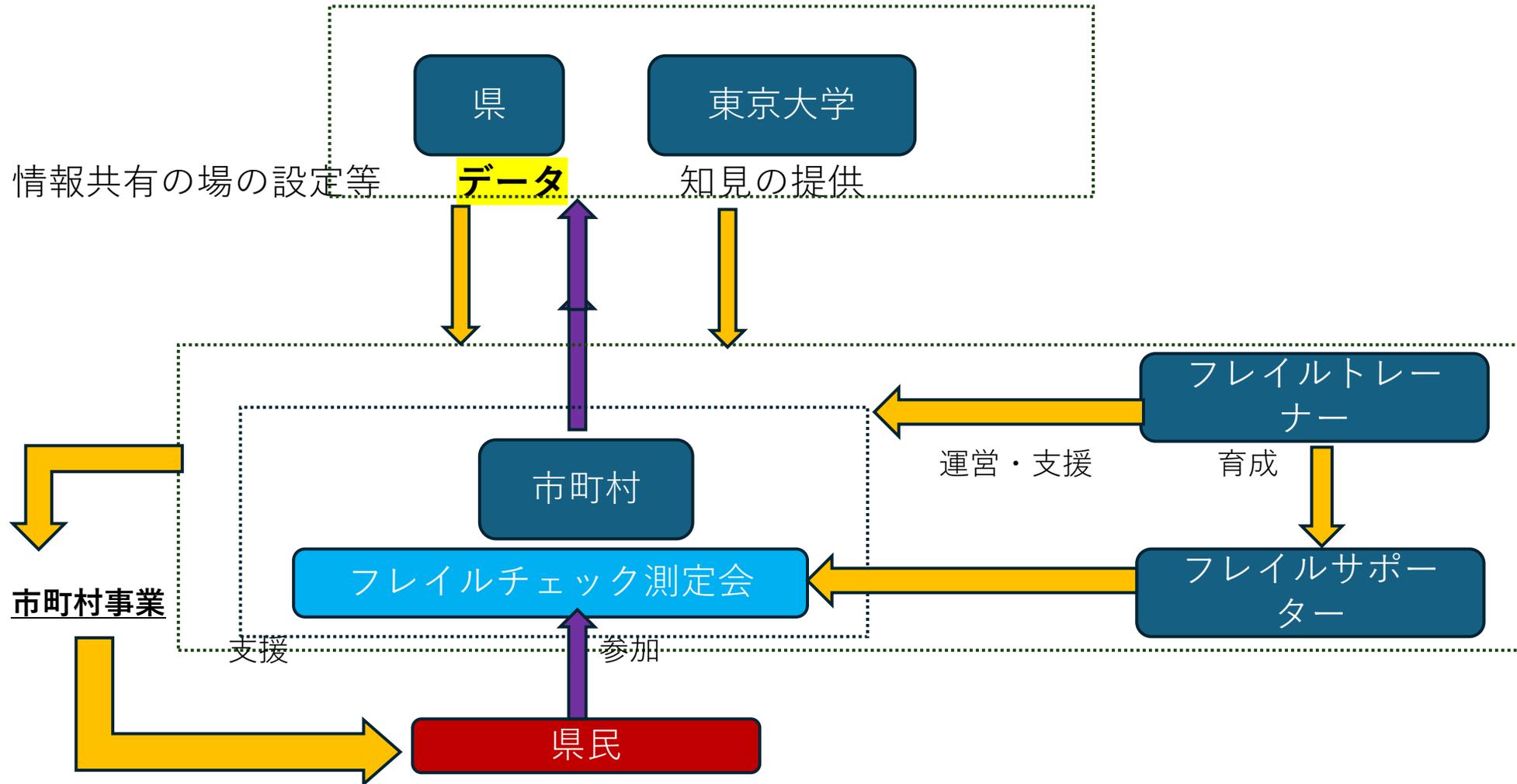




フレイルチェックとは

- 東京大学高齢社会総合研究機構が2012年から千葉県柏市で「大規模長期縦断追跡健康調査（柏スタディ）」の研究結果に基づき、住民主体で簡便に楽しくそして継続的に自分の健康状態を知ることができるように開発されたものが「フレイルチェック」です。
- フレイルサポーターは、参加者と同じ自治体にお住まいの方で、一定の研修を受けて、地域の健康づくりの担い手として活躍しています。
- 左が開発された東京大学高齢社会総合研究機構・機構長 飯島 勝矢教授

フレイルチェックの仕組み



1	横須賀市	健康増進課	電話番号：046-822-8135
2	平塚市	保険年金課	電話番号：0463-72-7266
3	茅ヶ崎市	高齢福祉課	電話番号：0467-81-7163
4	逗子市	社会福祉課	電話番号：046-873-1111
5	三浦市	高齢介護課	電話番号：046-882-1111
6	秦野市	高齢介護課	電話番号：0463-82-7394
7	厚木市	介護福祉課	電話番号：046-225-2388
8	海老名市	地域包括ケア推進課	電話番号：046-235-4950
9	中井町	健康課	電話番号：0465-81-5546
10	松田町	福祉課	電話番号：0465-83-1226
11	山北町	保険健康課	電話番号：0465-75-3642
12	開成町	福祉介護課	電話番号：0465-84-0316
13	湯河原町	介護課	電話番号：0465-63-2111

やってみよう
フレイル
チェック

『指輪っかテスト』 で自己チェックを!

まずは自分の筋肉量を測ってきましょう。
計測器は使わずに自分の指を使う簡易型のチェックです。



両手の親指と人差し指で輪を作ります。 **1**



利き足ではない方のふくらはぎの一番太い部分を力を入れずに軽く固んでみましょう。 **2**

サルコペニアの危険度の高まりとともに、様々なリスクが高まっていくことがわかってきています。

転倒・骨折などのリスク



低い サルコペニアの危険度 高い

※「指輪っかテスト」は、東京大学高齢社会総合研究機構が実施した転倒リスクを主に考慮されました。

『イレブン・チェック』 みんなでやってみよう!

フレイルの兆候があるかどうか
11の項目に答えてみましょう。

「イレブン・チェック」表

項目	回答欄
Q1 ほぼ同じ年齢の男性と比較して健康に気がつけた食事心がけていますか	はい いいえ
Q2 野菜料理と主菜(お肉またはお魚)を両方とも毎日2回以上は食べていますか	はい いいえ
Q3 「さきいか」「たくあん」くらいの固さの食品を普通に噛みきれますか	はい いいえ
Q4 お茶や汁物でむせることがありますか ※	はい いいえ
Q5 1回30分以上の汗をかき運動を週2回以上、1年以上実施していますか	はい いいえ
Q6 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか	はい いいえ
Q7 ほぼ同じ年齢の男性と比較して歩く速度が速いと思いますか	はい いいえ
Q8 昨年と比べて外出の回数が減っていますか ※	はい いいえ
Q9 1日1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか	はい いいえ
Q10 自分が活気に溢れていると思いますか	はい いいえ
Q11 何よりもまず、物忘れが気になりますか ※	はい いいえ

※ Q4・Q8・Q11は「はい」と「いいえ」が逆になっていますのでご注意ください
※ 回答欄の右側に○が付いた時は要注意です

『こんなことも分かります』
自分の状況を知ってみよう!

フレイルチェックでは、筋肉量やお口の機能について詳しく測定することができます。是非ご参加ください。

ストップフレイル

みなさん楽しく参加されています
筋肉量の測定
お口の機能の測定
片足立ちテスト

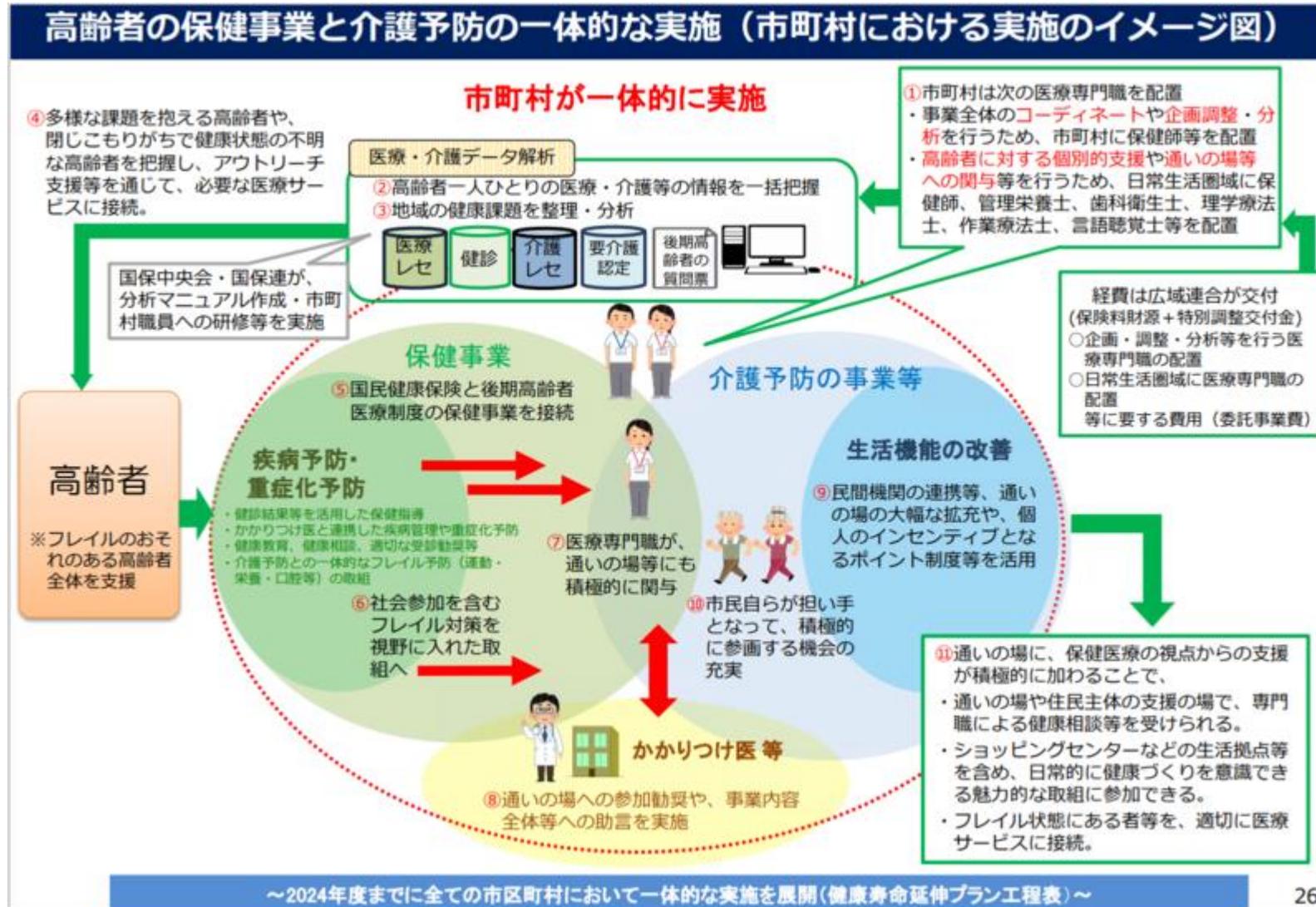
フレイルチェックを定期的に(半年あるいは1年に1回)測定しましょう。

IOG 東京大学高齢社会総合研究機構

東大IOGアカデミー2024第3回フレイル予防 とまちづくり」に関するプロジェクトより

- 超高齢化が進み、かつ人口も減少していくという厳しい日本の地域社会で、まちづくりをどう進めていくのか、実に重い課題です。国政のみならず自治体行政、さらに地域社会の関係者の皆さんにとって避けて通れない問題ですが、地域社会の中核におられるお年寄りが元気で、かつ社会参加に取り組んでもらうことが必要です。（元厚労省事務次官の辻哲夫氏）
 - フレイル予防のための体操教室をサロン仕立てに変えたら、意外に広がりが出て参加者数が増えています。我々としては、工夫次第で状況を変えられます
- ⇒ 今後は団地自治会やスーパーマーケットなどとフレイル予防の周知徹底する必要性、介護医療との連携が課題になると思います。

①「ポピュレーションアプローチ」 まで広がっていない



②フレイルに関する測定の機会は増えてきているが・・・様々な課題が

- フレイルチェックなどの測定が目的となっていたり、専門職が主導の教室や測定会が多い⇒回数や参加者が限定的
- 住民が知りたい「地域のフレイルの課題とは何か」分析が還元されない
- 測定会に無関心層をどう取り込んでいくか
(防災・お祭り・食事会)
- 通いの場へのアウトリーチも増えているが、結局は関心層が多い
- そもそも住民主体と言っても高齢化で担い手が減っている
- 健康づくりのアプリがあっても使い方がわからない、長く続かない
- ・ ・ ・ どうしたらよいのか、新たな手を打てない状態が続いている

2. 当会と神奈川県がすすめているフレイル予防事業（令和7年度）

フレイル予防の質問票（15+3）

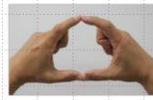
フレイル健診表			
実施日：R_年_月_日 会場：_____			
フレイル健診ID：_____ 氏名：_____ 性別：男・女 年齢 _____ 歳			
(指輪っかテスト記録票)			
テスト名	説明文	回答（当てはまるところに○をつける）	
筋肉減弱の自己チェック	座った場所そのまま実施 親指と人差し指で指輪っかを作ります 足を地面につけたまま膝を90度にまげます 前かがみになって、利き足ではない方のふくらはぎを「指輪っか」で囲みます	①囲めない ②ちょうど囲める ③隙間ができる	
(15項目の質問票)			
題名	No.	質問文	回答（当てはまるところに○をつける）
健康状態	1	あなたの現在の健康状態はいかがですか	①よい ②まあよい ③ふつう ④あまりよくない ⑤よくない
心の健康状態	2	毎日の生活に満足していますか	①満足 ②やや満足 ③やや不満足 ④不満足
食習慣	3	1日3食きちんと食べていますか	①はい ②いいえ
口腔機能	4	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか ※さききり、たくあんなど	①はい ②いいえ
	5	お茶や汁物等でむせることがありますか	①はい ②いいえ
体重変化	6	6カ月間で2〜3kg以上の体重減少がありましたか	①はい ②いいえ
運動・転倒	7	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	①はい ②いいえ
	8	この1年間に転んだことがありますか	①はい ②いいえ
認知機能	9	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	①はい ②いいえ
	10	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われていますか	①はい ②いいえ
	11	今日が何月何日かわからない輪がありますか	①はい ②いいえ
喫煙	12	あなたはたばこを吸っていますか	①吸っている ②吸っていない ③やめた
社会参加	13	週に1回以上は外出していますか	①はい ②いいえ
ソーシャルサポート	14	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	①はい ②いいえ
15	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	①はい ②いいえ	
(深堀測定記載表)			
テスト名	説明文	回答（当てはまるところに測定値をつける）	
握力測定	測定人員 1名必要 立ったまま、利き手で握力計を握ります。 肘を伸ばし、少し腕を広げます。 力を入れてもらい、握力を測定します。	小数点2桁目を四捨五入 _____ Kg	
身長測定	(測定人員 1名必要) 厚手の上着、履物を脱いだ状態で踏み台に乗って頂く 後頭部、背部、臀部、踵部をしっかりと尺柱につけてもらい、つま先を30〜40度に開いた状態でまっすぐ立ってもらいます。 肩の力を抜いて正面を向き、視線が水平になるよう顎を引いてもらい、測定をいたします。	小数点2桁目を四捨五入 _____ M (h値)	
体重測定	(測定人員 1名必要) 体重の測定は、自宅で入浴前など裸に近い状態で測定ができれば、その数値を持参して頂き記入して頂く。当日衣服を脱ぎ、財布類をポケットから出し、靴は脱いだ形で測定を行います。 測定値 (a値) から便宜的に1Kg (b値) を差し引いた記録 (c値) をします。	自宅測定値 小数点2桁目を四捨五入 _____ Kg 会場測定値 小数点2桁目を四捨五入 _____ Kg (a値) 1Kg・・・ (b値) 衣類補正後体重 (a-b値) _____ Kg (c値)	
参考BMI値	[a値又はc値] ÷ (h×h)	算定BMI値 (_____)	

指輪っかテスト

指輪っかテスト

方法

- 親指と人差し指で「指輪っか」をつくります。
- 足を地面につけたまま、膝を90度に曲げます。
- 前かがみになって、利き足ではない方のふくらはぎを「指輪っか」で囲みます。



解説

- 測定機器を使わず自分のふくらはぎを指で囲むことで、自分の筋肉量が把握できる簡易型のチェック方法です。サルコペニアのリスクを見つけていきます。
- 囲めない、又は、ちょうど囲める人はサルコペニアのリスクが低いですが、逆に隙間ができてしまう人は危険信号です。



15項目の質問票

身長測定

方法

- 測定人員 1名必要
- 厚手の上着、履物を脱いだ状態で踏み台に乗って頂く。
- 後頭部、背部、臀部、踵部をしっかりと尺柱につけてもらい、つま先を30〜40度に開いた状態でまっすぐ立ってもらいます。
- 肩の力を抜いて正面を向き、視線が水平になるよう顎を引いてもらい、測定をいたします。
- 測定が終わりましたら、下記の解説を参考にBMIを計算し、記録いたします。



解説

BMI: [Body Mass Index / ボディ・マス指数 / 体格指数 / と言われますが]
 [体重 (kg)] ÷ [身長 (m) の2乗] で算出される値で肥満や低体重 (やせ) の判定などに用いられます。

握力測定

方法

- 測定人員 1名必要
- 立ったまま、利き手で握力計を握ります。
- 肘を伸ばし、少し腕を広げます。
- 力を入れてもらい、握力を測定します。



解説

- サルコペニアのリスクがあるかどうかをチェックします。

測定時のポイント

- ① 立ったまま、利き手で握ります。
- ② 腕を下に伸ばして握力計をしっかりと握ります。息を止めずにゆっくり力を入れた状態で測定します。
- ③ 握力計が体につかないように注意します。
- ④ 血圧の高い方には行わないでください。

腕を少し上げて握力計を体から離す

体重測定

方法

- (測定人員 1名必要)
- 体重の測定は、自宅で入浴前など裸に近い状態で測定ができれば、その数値を持参して頂き記入して頂く。
- 当日衣服を着たまま測定する場合は、できる限り上着類を脱ぎ、財布類をポケットから出し、靴は脱いだ形で測定を行います。



解説

当日衣服を着たまま測定する場合は、測定値 (a値) から便宜的衣類相当分に1Kg (b値) を差し引いた記録 (c値) をします。精度は下がりますが毎年継続して測定することで傾向を掴むことができます。

記入欄には、自宅測定値と会場測定値の2カ所がありますので、どちらかに測定値を記入してください。

会場測定値の場合には会場測定値 (a値) の記入と、衣類補正後体重 (c値) の記入をお願いします。

- 測定時のポイント**
- ① 指輪っかテストは該当する番号のところに○印を入れる
 - ② 15項目の質問票は質問の意味を良く聞いて該当する番号のところに○印を入れる
 - ③ 深堀測定は小数点2桁目を四捨五入して記入する。

BMI (ボディマスインデックス) の測定

後期高齢者の質問票のポピュレーションアプローチへの期待 —住民主体のフレイル予防活動、グループワーク、地域活動の基盤として—

後期高齢者の質問票

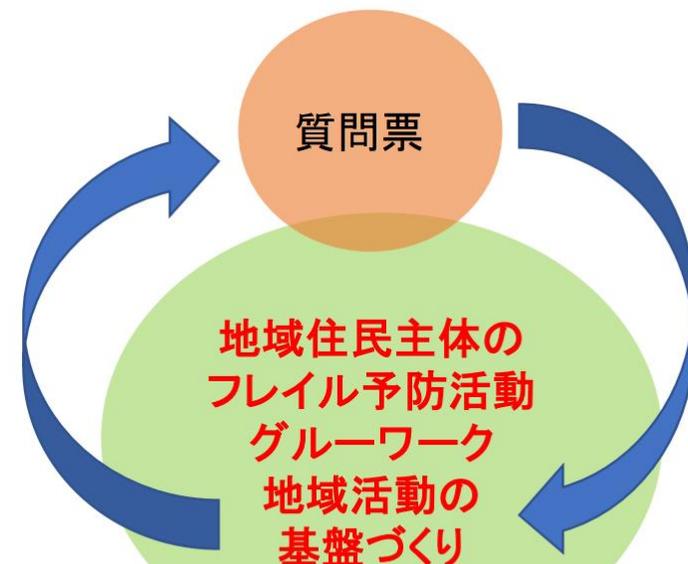
類型名	質問文	回答	考 え 方
1 健康状態	あなたの現在の健康状態はいかがですか	①よい ②まあよい ③ふつう ④あまりよくない ⑤よくない	主観的健康観の把握を目的に、国民生活基礎調査の質問を採用
2 心の健康状態	毎日の生活に満足していますか	①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満	心の健康状態把握を目的に、GDS（老年期うつ評価尺度）の一部を参考に設定
3 食習慣	1日3食きちんと食べていますか	①はい ②いいえ	食事習慣の状態把握を目的に項目を設定
4 口腔機能	半年前に比べて固いもの(*)が食べにくくなりましたか*さきいか、たくあんなど	①はい ②いいえ	口腔機能（咀嚼）の状態把握を目的に、基本チェックリストの質問を採用するとともに、「固いもの」の具体例を追加
5	お茶や汁物等でむせることがありますか	①はい ②いいえ	口腔機能（嚥下）の状態把握を目的に、基本チェックリストの質問を採用
6 体重変化	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	①はい ②いいえ	低栄養状態のおそれの把握を目的に、基本チェックリストの質問を採用
7	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	①はい ②いいえ	運動能力の状態把握を目的に、簡易フレイルインデックスの質問を採用
8 運動・転倒	この1年間に転んだことがありますか	①はい ②いいえ	転倒リスクの把握を目的に、基本チェックリストの質問を採用
9	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	①はい ②いいえ	運動習慣の把握を目的に、簡易フレイルインデックスの質問を採用
10 認知機能	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか	①はい ②いいえ	認知機能の低下のおそれの把握を目的に、基本チェックリストの質問を採用
11	今日が何月何日かわからない時がありますか	①はい ②いいえ	認知機能の低下のおそれの把握を目的に、基本チェックリストの質問を採用
12 喫煙	あなたはたばこを吸いますか	①吸っている ②吸っていない ③やめた	喫煙習慣の把握を目的に、国民生活基礎調査の質問を採用し、禁煙理由についてのアセスメントにつなげるため、「やめた」の選択肢を追加
13 社会参加	週に1回以上は外出していますか	①はい ②いいえ	閉じこもりのおそれの把握を目的に、基本チェックリストの質問を採用
14	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	①はい ②いいえ	他者との交流（社会参加）の把握を目的に、基本チェックリストの質問を参考に設定
15 ソーシャルサポート	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	①はい ②いいえ	身近な相談相手の有無の把握を目的に項目を設定

後期高齢者の質問票は、フレイルなど高齢者の特性を踏まえ健康状態を総合的に把握するという目的から、

- (1) 健康状態
- (2) 心の健康状態
- (3) 食習慣
- (4) 口腔機能
- (5) 体重変化
- (6) 運動・転倒
- (7) 認知機能
- (8) 喫煙
- (9) 社会参加
- (10) ソーシャルサポート

の10 類型に整理がされている

この質問票を活用することで、住民が主体となった地域活動の基盤づくりにも役に立つことが期待される。



神奈川県三浦市におけるモデル事業の取組

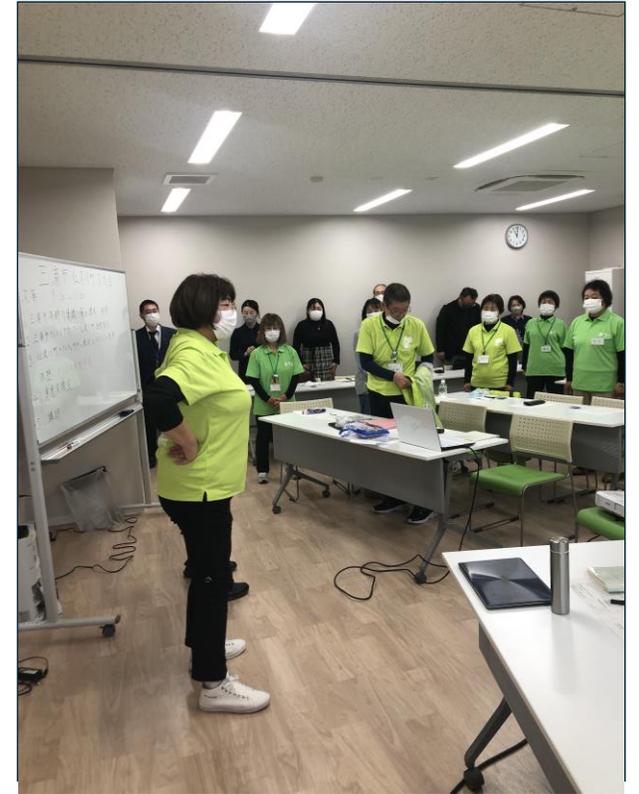
国事業の一環で、かながわ福祉サービス振興会の協力で三浦市でモデル事業を実施。フレイル測定サポーターを養成し市内の様々な通いの場等で「15+3のフレイル測定」を実施しました。



参加者が多い会場では、グループにわけて測定を実施。**短時間で測定**できるので、**元々の教室のプログラムと一緒に測定**することができます。



小人数でも測定できる！

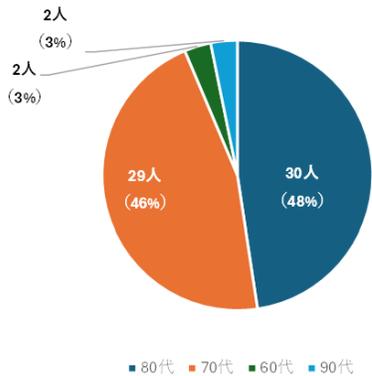


高知県仁淀川町との**交流**。
かけがえのない**仲間**が
できる**気アップ!**

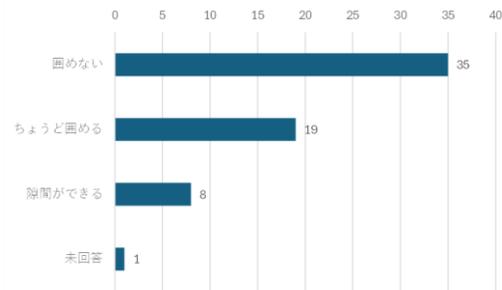
神奈川県三浦市での後期高齢者の質問票(15+3)を活用した 住民主体のフレイル測定(結果の概要)

参加者年齢

(n=63、平均年齢:約79歳)



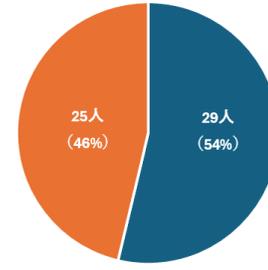
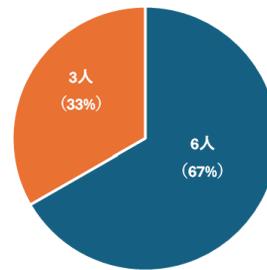
指輪っかテスト



握力測定

(男性)

(女性)

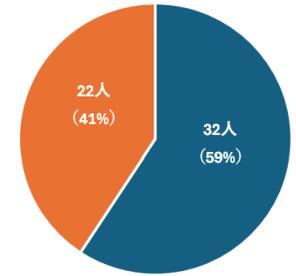
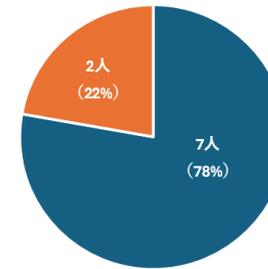


■ 男性30kg以上 ■ 男性30kg未満 ■ 女性20kg以上 ■ 女性20kg未満

BMI測定

(男性)

(女性)



■ 男性21.5以上 ■ 男性21.5未満 ■ 女性21.5以上 ■ 女性21.5未満

サポーター養成研修

(26名参加)



三浦市でのフレイル測定

実施場所:4つの異なる「通いの場」タイプとイベント会場(市民まつり)

- ①少人数サロン(参加者7名程度、サポーター4名) 個人宅、三浦診療所)
- ②老人福祉センター(参加者28名、サポーター10名)
- ③区民会館(参加者21名、サポーター5名)
- ④三浦市民まつり(体験参加者約100名、サポーター10名)

実施結果概要

- ①15の質問票の回答は比較的良い結果であったが、実測値では握力、BMIとも低い方の割合が多かった。
- ②個人サロンや小規模の場所を管理している方々にとって定期的にフレイル測定ができ様々な活動に繋がっていくのが良い。



■地域包括ケアシステム推進のための専門職員等派遣事業

地域包括ケアシステムを深化・推進するため、県が市町村単独では人材確保が困難な**専門職員**及び先進的な事例や先駆的な知見を有する者、リハビリテーション専門職等を**市町村や地域包括支援センター、通いの場等**に派遣する事業です。
(かながわ福祉サービス振興会に委託して実施)

《通いの場への派遣例》

- ・介護予防・認知症予防の運動(R6)
- ・認知症カフェでの介護予防(R6)
- ・通いの場立ち上げ支援(R5)
- ・通いの場定着支援 住民主体の健康づくり(R5) 等

R7年度はフレイル測定トレーナーも派遣可能にし、フレイル測定会・サポーター養成講座も開催できるようにしました

令和7年度神奈川県地域包括ケア推進事業における専門職員等派遣事業
派遣を希望する市町村・地域包括支援センターを募集します！

派遣期間 令和7年6月中旬～令和8年3月6日(金)

地域ケア会議

- ・介護予防のための地域ケア個別会議
- ・地域ケア会議
- ・地域ケア会議の立ち上げ、運営のための研修会・勉強会
- ・介護予防のための地域ケア個別会議立ち上げ後の評価

通いの場

- ・通いの場等（ボビュレーションアプローチ）でのモデル講座
- ・通いの場担当者・運営者向けの、介護予防や自立支援、健康づくりに関する助言
- ・フレイルサポーター等ボランティアの養成についての助言 など

その他の課題

- ・市町村区域を超えた広域的な連絡会議等
- ・地域包括支援センターの事業評価
- ・その他、地域課題解決のための研修会・勉強会・モデル会議 など

例：「ケアラー支援」「セルフネグレクトへの対応」「移動支援」「災害時要配慮者対策」「在宅医療・介護連携」「保健事業と介護予防の一体的実施」

(派遣職種例) 医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保健師、看護師、社会福祉士、介護支援専門員、精神保健福祉士、管理栄養士、歯科衛生士、弁護士、大学教員、NPO職員、フレイルトレーナー など
※詳細はご相談ください。

【申込について】
①県所定の申込書に必要事項を記載の上、市町村所管課で地域包括支援センター分もとりまとめのうえ、メールにて下記申込先にご提出ください。
②派遣の可否について、県担当から市町村所管課宛に5月末を目途に文書でお知らせいたします。

申込締切：令和7年5月16日(金)

【申込先・問合せ先】
★神奈川県高齢福祉課 高齢福祉グループ 秋好・澤田
電話：045-210-1111（内線4838） 電子メール：anshinkaigo@pref.kanagawa.lg.jp

令和7年度神奈川県介護予防に係る市町村支援②

市町村向け

県民向け

■市町村介護予防事業支援のための人材育成講座

令和3年度から、高齢者の社会参加・支え合いの体制づくり、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施等、近年の市町村介護予防事業に対応するため「市町村介護予防事業支援のための人材育成講座」（初級編・中級編）を実施しています。

対象

- ・市町村の介護予防事業担当者
- ・介護予防事業に従事する専門職
- ・通いの場に関わっている人や興味のある個人、団体等

R7年度 ※フレイル測定や三浦市の取組を紹介

- 「通いの場におけるフレイル予防 **実践編**」開催
- 「通いの場におけるフレイル予防 **応用編**」開催

(研修体系のイメージ)

上級	【職能団体主催】 専門職向け専門研修
中級	【県主催】専門職向け基礎研修
初級	【県主催】初任者研修

職能団体が開催する研修（上級編）と連携し、専門職のスキルアップと地域での活躍を目指しています。

■通いの場への伴走支援

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の開始にあたり、令和3年度から令和6年度まで「一体的実施にかかる通いの場への伴走支援」を実施しました。一体的実施では、**フレイル状態に着目した対策**がポイントであることをアドバイスしてきました。

アドバイザー（神奈川県立保健福祉大学 田中和美教授）

市町村の課題に寄り添いながら、市町村が自ら考えながら効果的な取組を実施できるよう、アドバイザーから助言を受け、県が継続的に市町村に伴走して支援を行います

- ・アドバイザー派遣3回程度／年（県職員が毎回同席）毎年3～4市町村
- ・伴走支援参加市町村同士の**情報交換会**を実施し、**事例の横展開**を図った。
- ・コロナ禍は、通いの場の活動状況も様々。
 - ▶各市町の担当者の個別の状況に応じた支援を実施。

市町村に寄り添い
伴走して支援

県職員 アドバイザー 市町村



神奈川県PRキャラクター かながわキンタロウ

- ・令和6年度は県内すべての33市町村で一体的実施を開始したため、令和7年度からは「介護予防機能強化のための伴走支援」にリニューアルして実施。

フレイルに係る庁内連携

三浦市の「住民主体の15+3のフレイル測定」モデル事業を
既存の事業を活用し県内市町村に横展開していきます

「フレイルチェック(東大方式)」及び「住民主体の15+3のフレイル測定」双方の
メリットや活用の可能性を周知し、住民主体の通いの場等への展開を目指します



フレイル対策

高齢になってもいきいきと暮らせる

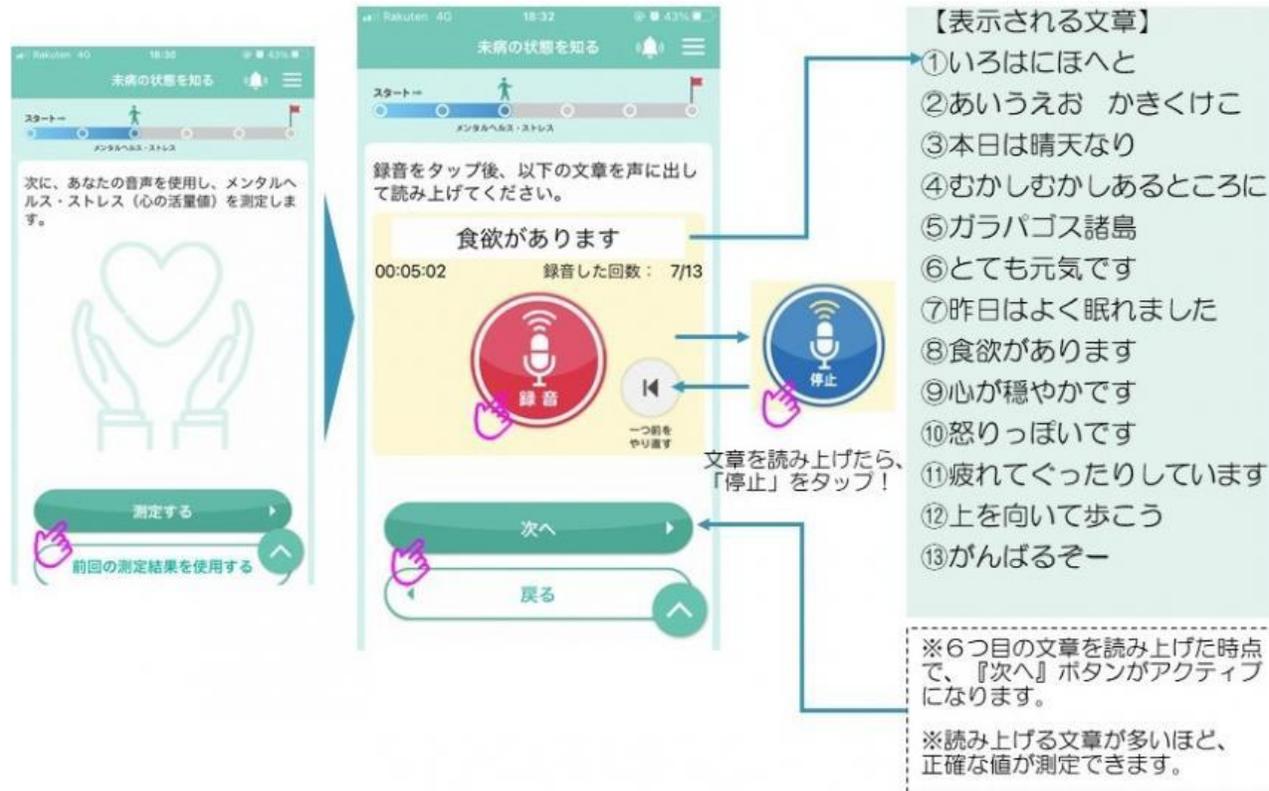
健康寿命の延伸



* カントリークラブでのフレイルチェック



* 未病指標との連携 (メンタルヘルス・ストレス)



• 核になるのは、住民サポーターへのアプリ導入支援

• 住民サポーターが活用できるようになると、通いの場等へ広がっていく

• フレイル測定と合わせて、いつでもセルフチェックが可能

3. 今後の展望 (R7.11.20フレイル予防推進会議にて)



我々が目指す「かながわフレイルナビ」の将来像

「いつでも、自分らしく。 地域共生社会実現のための公民連携プラットフォーム」

高齢者、障害者、子育て世代を含むすべての県民が、住み慣れた地域で生き生きと暮らし、自己実現を果たせる「地域共生社会」の実現に貢献します。本プラットフォームを通じて、未病改善やフレイル予防、仲間づくりに資する情報を一元的に提供し、住民による健康状態の把握と自発的な行動変容を強力に促進します。



成功の鍵となる官民連携体制

住民の「自分事化」と「行動変容」を促進するため、二者の専門性を活かした連携体制により機能を抜本的に強化します。



かながわ福祉サービス振興会

「生活支援サービス情報提供システム」とのデータ連携により、行政・民間の垣根を越えた地域資源情報を県民へ一元的に提供。

医療経済研究・社会保険福祉協会

開発予定の「フレイル予防支援情報システム」を活用し、将来の健康リスクを科学的に判定・可視化。結果を行政や住民にフィードバックし、住民の「自分事化」を促進。

各法人の専門性が結集し、多角的な支援を実現



システム System Development
(公社) かながわ福祉サービス振興会
システムの整備・運用/普及啓発。
県民目線の地域包括ケア推進システム
を構築。



人材育成 Human Resources
(一社) かながわ福祉大学校
人材の養成/SNS等の教育。
地域特性を理解したトレーナー及び
サポーターを養成。



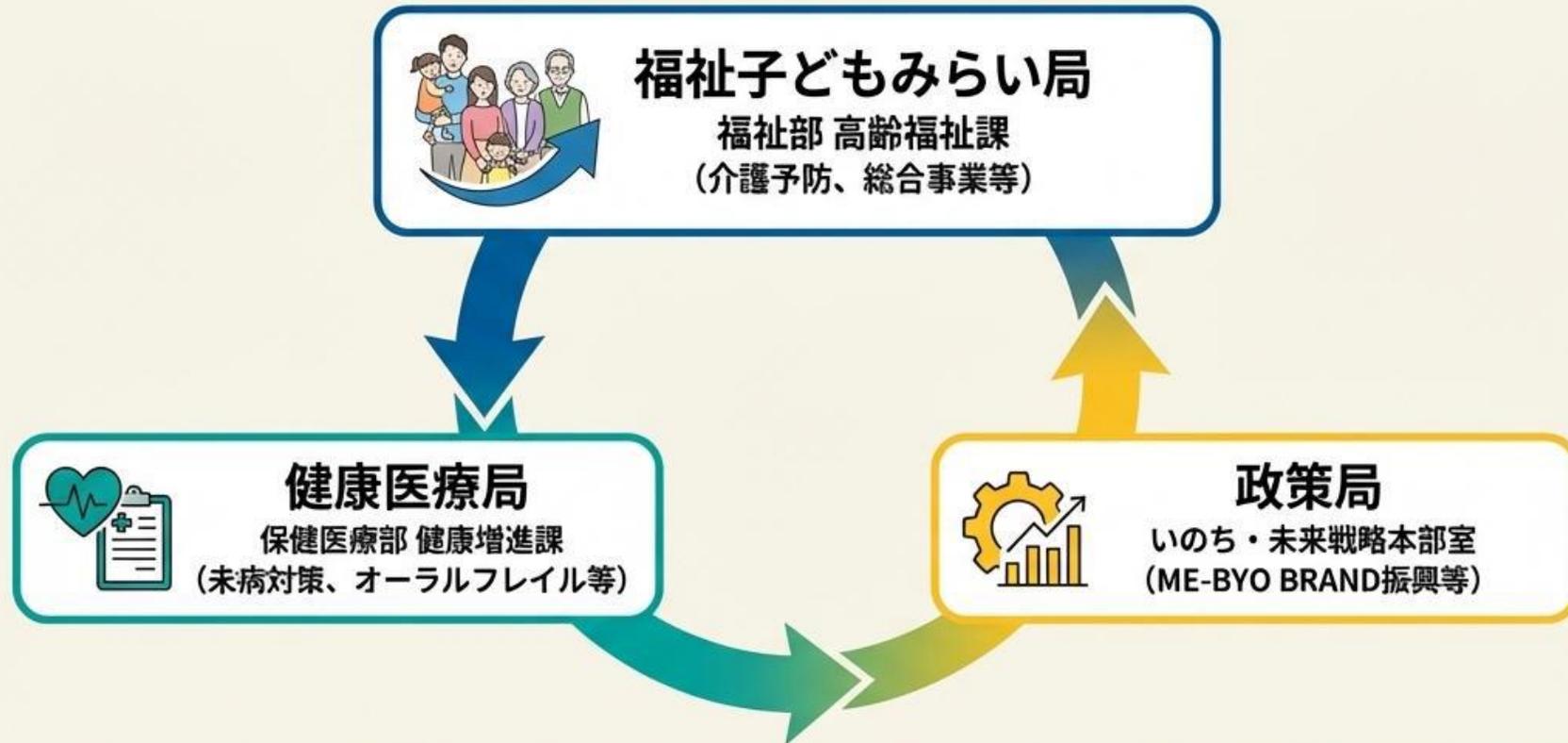
データ分析 Data Analysis
(一社) かながわ福祉総合研究所
データ分析/フレイル予防施策の提案。
エビデンスに基づいた介護予防・未病
改善に係る政策を市町村に提案。



住民支援 Resident Support
(一社) 共生社会推進機構
住民の行動変容につながる支援。
フレイル測定やデータ活用を進め、
住民の意識・行動変容を促進。

福祉子どもみらい局を中核とした全庁連携体制

本プラットフォームの効果を最大化するには、各部局が所管する未病・フレイル関連施策や情報を「かながわフレイルナビ」に集約し、県民へ一体的に発信していくことが不可欠です。



庁内連携を強化し、「オール神奈川」で県民の健康寿命延伸を支援する体制を構築します。

本構想が「県民」にもたらす価値



健康の自分事化 (Health Empowerment)

自身の健康状態や将来リスクを客観的に把握し、主体的に健康管理に取り組む文化を醸成。



個別最適化された支援 (Personalized Support)

一人ひとりの状態に合わせた最適な活動やサービスの情報に、いつでも・どこでもアクセス可能に。



社会との繋がり (Community Connection)

地域の活動やサービスとのマッチングを通じて社会参加を促進し、孤立を防ぎ、生きがいを創出。



シームレスな体験 (Seamless Experience)

行政・民間の垣根を越えた情報をワンストップで入手でき、必要な支援へスムーズに繋がる。

本構想が「行政」にもたらす価値

データ駆動型政策立案 (Data-Driven Policymaking)



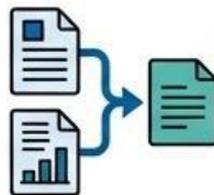
蓄積される利用データを分析し、効果的なフレイル予防・未病改善施策の立案・評価に活用。

効果的な公民連携 (Effective Public-Private Partnerships)



民間サービスを含む多様な地域資源を県民一体に繋ぐハブとなることで、官民一体の地域共生社会づくりを推進。

行政サービスの効率化 (Efficient Governance)



複数の部局にまたがる未病・フレイル関連情報を集約し、県民へ一体的に発信することで、情報伝達の重複をなくし効率化。

県の重要施策の推進 (Advancement of Key Policies)



「健康寿命の延伸」や「地域共生社会の実現」といった県の重要政策目標の達成に直接的に貢献。



ご清聴ありがとうございました

1) かながわフレイルナビ
：神奈川県フレイル予防
の情報がわかりますので、
<https://frail.kanafuku.jp/>
是非、ご覧ください

2) フレイル予防
への問い合わせ
✉ naritas@kanafuku.jp
☎ 045-514-1182
担当：成田